

「財務局HPに係る共通情報公開基盤の構築・移行・運用等業務」 調達仕様書(案)の意見招請の結果について

※提出された意見等については原則として原文のまま掲載しているが、頁番号等の形式面や意見中に固有製品名等を含んだ記載については修正しているものがある。

No.	対象文書名	頁番号	章・項番号等	仕様書等記述	意見	回答
1	要件定義書	5	2.1.(1) コンテンツ作成	オ SEO関連META要素が未入力時に、制作担当者に内容の入力を促すこと。また、入力がない場合は注意喚起又は入力がないと公開できないことを表示すること。	META要素におけるキーワードについては以下参考記事の通りSEOへの影響がないため、必須入力としない運用が推奨となります。先文章の末尾に「本機能は、META要素ごとに必須か否か設定できること」と追加頂くと良いと思います。 https://developers.google.cn/search/docs/crawling-indexing/special-tags?hl=ja#unsupported "meta-keyword タグは Google 検索では使用されないため、インデックス登録やランキングにはまったく影響しません。"	ご意見を踏まえ、要件を修正します。
2	要件定義書	5	2.1.(1) コンテンツ作成	ク ページから、PDFやFlash等へのリンクを設定する場合に、プラグインとして動作するソフトウェアのダウンロードサイトへのリンクを自動的に表示できること。	2020年12月31日でFlash Playerのサポートが終了しています。「Flash」の記載削除を強く推奨します。 https://www.adobe.com/jp/products/flashplayer/end-of-life.html	ご意見を踏まえ、「Flash」の記載を削除します。
3	要件定義書	5	2.1.(1) コンテンツ作成		コンテンツ作成時に有益な機能があるので以下の追加をご提案します。 「ナ サイトをプレビューしながら直感的に新規ページを公開する階層を指定したり、当該ページの更新や引用しての新規ページ作成ができること。」	本件は要件の修正は行わず、ご提案の範囲といたします。
4	要件定義書	8	2.1.(8) ワークフロー機能		査閲回覧時に有益な機能があるので以下の追加をご提案します。 「キ システムにログインしなくても公開前のコンテンツが参照できるURLを生成できること。」	本件は要件の修正は行わず、ご提案の範囲といたします。

No.	対象文書名	頁番号	章・項番号等	仕様書等記述	意見	回答
5	要件定義書	14	3.1.(2) アクセシビリティ	イ 財務局HPは、3か国語(英語・中国語・韓国語)以上の言語の自動翻訳に対応すること。	現行サイトでは自動翻訳(機械翻訳)サービスの提供を実施しておりません。本定義書においても、不要と考えております。	ご意見を踏まえ、要件を削除します。
6	要件定義書	19	3.10.(1).イ 脆弱性検査	2025年4月の財務局HPの本番運用前に、脆弱性診断を行うこと。	本業務では、WEBサーバ/CMSサーバ等をシステムとしてインテグレートして提供する業務であり、その全体を対象に脆弱性診断を実施することで、抜け漏れない対策に繋がります。以下表現の追加をご提案します。 「脆弱性診断の範囲は本業務にて構築するサーバ群(WEB/CMSサーバ等)とし、脆弱性診断としてアプリケーション診断およびプラットフォーム診断の実施を想定している。」	『デジタル庁「政府情報システムにおける脆弱性診断導入ガイドライン(2022年6月30日)」を参考に実施すること』という記載でそれらの実施を想定していること、また、脆弱性診断の実施前に計画の説明を求めていることから、要件の修正は行いません。
7	要件定義書	19	3.10.(2).ア システム構築時	B 財務局HPの機器については可能な限りISO/IEC15408認証を取得しているものを選定すること。	クラウドサービスを利用する場合、個別の機器選定状況を確認することは難しいです。(ISMAP登録時に一定の基準をクリアしている認識) 本要件については、冒頭に「データセンターを提案する場合、」と追記願えますでしょうか。	現在の仕様書の記載においても、「可能な限り」としているとおり、ご意見にかかる要件を必須としていないことから、要件の修正は行いません。
8	要件定義書	20	3.10.(2).ア システム稼働時	イ システム稼働時 機器の故障又は賃貸借期間終了に伴い、サーバのハードディスクを設置場所から持ち出す場合は、以下のいずれかの方法を用いて、情報漏えいが発生しないようにすること。	クラウドサービスを利用する場合、個別のディスク消去状況を確認することは難しいです。(ISMAP登録時に一定の基準をクリアしている認識) 本要件については、冒頭に「データセンターを提案する場合、」と追記願えますでしょうか。	ご意見を踏まえ、要件を修正します。
9	要件定義書	21	第3 非機能要件の定義 10.情報セキュリティに関する事項 (2)情報セキュリティ対策 ウ ファイアウォール機能要件	追加仕様の提案	ファイアウォール管理者の利便性向上のため、以下の文言の追加を提案いたします。 「ファイアウォールのポリシーはGUIで日本語で設定できること。」	本件は要件の修正は行わず、ご提案の範囲といたします。

No.	対象文書名	頁番号	章・項番号等	仕様書等記述	意見	回答
10	要件定義書	21	第3 非機能要件の定義 10.情報セキュリティに関する事項 (2)情報セキュリティ対策 ウ ファイアウォール機能要件	(ウ) インターネット接続回線の帯域に対応させること。	適切な性能のファイアウォール製品を選定するため、インターネット接続回線の帯域を仕様書に記載することを提案いたします。	ご意見を踏まえ、インターネット接続回線の帯域について、要件に記載します。
11	要件定義書	21	第3 非機能要件の定義 10.情報セキュリティに関する事項 (2)情報セキュリティ対策 エ 不正侵入防御(IPS)機能要件	(ア) ネットワーク上の通信内容や状態を監視し、侵入もしくは攻撃と判断される通信に対しては、遮断等の処理を行う機能を有すること。	SSL通信によるサーバへの攻撃に対応できるようにするため、以下の文言の追加を提案いたします。 「暗号化通信については復号化してIPS機能によるセキュリティ検査を実施できること。」	本件は要件の修正は行わず、ご提案の範囲といたします。
12	要件定義書	21	第3 非機能要件の定義 10.情報セキュリティに関する事項 (2)情報セキュリティ対策 エ 不正侵入防御(IPS)機能要件	(カ) PJMOが、不正アクセスの発生状況等をいつでも参照できるポータルサイトを提供すること。なお、ポータルサイトについては、IDおよびパスワードによりアクセス制限を行うこと。	セキュリティインシデントに備えて、セキュリティログやセキュリティイベントの効率的な管理とセキュリティインシデントへの迅速な対応を実現するため、以下の文言の追加を提案いたします。 「ファイアウォールとIPSの専用ログ管理システムを利用し、セキュリティログの分析とインシデントの即時通知を実施できること。」	本件は要件の修正は行わず、ご提案の範囲といたします。
13	要件定義書	21	第3 非機能要件の定義 10.情報セキュリティに関する事項 (2)情報セキュリティ対策 カ セキュリティ監視要件	追加仕様の提案	通信の可視化やインシデントの傾向を把握するため、以下の文言の追加を提案いたします。 「ファイアウォールを通過する通信や不正アクセスのログを分析して月次報告書を自動で作成してメールで送付できる機能を有すること」	本件は要件の修正は行わず、ご提案の範囲といたします。
14	要件定義書	25	3.12.(1) テスト要件	ア テスト実施の各種前提・制約条件	(ア)がダブっております。 ふり直しをお願いいたします。	ご意見の通り、誤記であるため、修正します。

No.	対象文書名	頁番号	章・項番号等	仕様書等記述	意見	回答
15	要件定義書	38	3.17.(2) ハードウェア保守要件	<p>ア 機器故障時の修理 今回調達する機器に故障が発生した場合は、「第 3 16(1)イ障害対応」に示した時間内に復旧可能するよう、対応すること。 イ ドライバ等の提供 今回調達するハードウェアは稼働期間全般にわたって、BIOS、ドライバ及びOS に関する最新のデータ並びにパッチを継続的に提供されること。 ウ 定期交換部品の提供及び交換 今回調達する機器が、運用期間中に交換が必要な部品については、部品提供及び交換を行うこと。</p>	<p>データセンターを提案する場合の要件が混在しているため、冒頭に「本要件は、データセンターを提案する場合を対象とするが、エ・オについてはクラウドサービスを提案する際、バーチャルマシンに対する作業として読み替えて対応すること。」と追記願えますでしょうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、要件を修正します。</p>